

日本共産党 足立区議団ニュース

2008 3 13
NO. 4

日本共産党足立区議団
中央本町1-17 1 足立区役所内
e-mail: acmp@blue.ocn.ne.jp
区議団ホームページ

非常勤栄養士の賃金アップ、戸籍住民課の派遣会社職員一区が直接雇用へ待遇改善

3月7日、予算特別委員会第4日目は、針谷みきお、浅子けい子の両議員が質問に立ちました。

針谷みきお議員の質疑要旨は次の通りです。

○質問Ⅱ 日本政府も批准しているILO「国際労働機関一〇〇号条約は「同一の価値とみなされる労働には同一の賃金を支払う」という原則がある。学校に配置している栄養士は正規職と非常勤職員が半数ずつおり、ほぼ同等の仕事をしている。特に昨年は夏休みの短縮で勤務日数は5日間も増えた。非常勤栄養士さんは教育と



発言する針谷みきお議員

校予算を止めて本来の学校配布予算に戻すことを要望してきたがどうか。

●答弁Ⅱ 配布予算は一億四七〇〇万円増額した。

○質問Ⅰ 年度途中で予定品目が増えなくなった場合、たとえば図書購入費に切り替えることができるのか。

●これまでは区教委に再申請してもらっていたが、今後は使い方の変更は教育委員会と協議して決める。

○質問Ⅱ 学校図書館法にあるように、図書館は学校教育と一体になっている。支援員の勤務を放課後に限定せず、柔軟に授業との連携ができるようにすべきではないか。

●答弁Ⅱ 原則、午後2時から6時としているが、学校との協議のうえ、12時から4時でも、1時から5時でも学校長の判断で変更を可とした。

**竹ノ塚駅付近鉄道立体化事業
道路特定財源の暫定税率が維持されない**

○質問Ⅱ わが党は竹ノ塚駅付近鉄道立体化事業を積極的に推進する立場で、国や東京都、東武鉄道との交渉に参加してきた。

先の本会議で、他党の質問に区は「道路特定財源の暫定税率が削減されたら区は27億円余の影響を受ける」と答弁した。しかし、道路特定財源については、原油高騰で苦しむ国民の目線から見れば、暫定税率廃止だけでもガソリンは1リットルあたり、24円以上安くする。現在、国会で審議中の「道路整備費の特例法改正案」では今後一〇年間、暫定税率を維持し、道路の中期計画59兆円を実施するものでありね高速道路などのゼネコンの要望しているものだけに全体の4割を占めている。

無駄な道路建設を止めれば鉄道の連続立体化事業も通学路の整備などができる

○質問Ⅱ 逆に開かずの踏切みり対策費は全体のわずか6.5%にすぎない。

道路整備に税金が使えなくなるわけではない。本来に必要な整備が急がれる道路であれば、一般財源化した税金を使えばいい。素案(表)をみてもあきらかなように多数盛り込まれている無駄な道路建設を止めれば、鉄道立体化事業も通学路の歩道整備など、緊急に必要な業も通学路の歩道整備など、緊急に必要な道路整備の財源は十分に確保できる。

わが党は、道路特定財源を一般財源化してあらたに環境税を導入するように提案していることを表明して、質問を終わる。

○質問Ⅱ 非常勤栄養士については、4月から賃金を月給18万4千円から19万3千円にアップする予定である。

○質問Ⅲ 区民部戸籍住民課では業務委託で区職員と民間委託職員が渾然一体で仕事をしていたが、偽装請負になることを懸念して派遣に切り替えてきた。労働者派遣法では常用雇用の代替として3年を超えてはならないという規定があり、超えた場合は直接雇用しなければならない。戸籍住民課の派遣職員は直接雇用にすべきである。

●答弁Ⅱ 一〇年度からは派遣をやめて、非常勤職員に切り替えていく。

○質問Ⅳ 公共サービスの質の低下が指摘されている。自治体などの公的機関が事業を委託する場合、当該地域の同種の労働の賃金相場等を調査し、調査による基準を上回るように契約しなくてはならない(ILO・九四号条約)に公契約における労働条件)と定めている。区として「公共調達に関する条例」もしくは「基本指針」を制定して、区内業者が元気になるように雇用環境の改善を図るべき。

●答弁Ⅱ 現在、国の方で労働環境に悪影響が起きないようになっているので、動向を見守る。

学校配布予算が増額・中学校の学校図書館支援員(司書など)配置

○質問Ⅱ 学力テストの結果による予算配布やがらばる学

道路の中期計画(素案)の概要

政策課題の項目	単価	個数	事業費(兆円)	構成比
(1) 国際競争力の確保	①基幹ネットワークの整備	高規格幹線道路等 空港港湾アクセス	21.47 1.03	22.5 1.7
(2) 地域の自立と活力	②生活幹線道路ネットワーク	2300力所	5.1	8.6
	③洗滌対策	3000力所	19.41	28.4
	④開かずの踏切対策	1400力所	3.84	6.5
(3) 安心安全の確保	⑤耐震対策	10000橋	1.38	2.3
	⑩踏切の安全対策	1900ヶ所	0.49	0.8
(4) 環境保全等	⑮バリアフリー化	6400キロ	1.35	2.3
	⑯無電柱化	3700扣	1.38	2.3

※解説一暫定税率を維持したい政府の最大のねらいは、基幹ネットワークのある高速道路建設にあります。この中には、赤字経営の東京湾横断道路(アクアライン)に加え、東京湾にもう一つ橋をかける第二東京湾横断道路や地方空港へのアクセス高速道路などの大手ゼネコンの要望する計画が入っています。

業も通学路の歩道整備など、緊急に必要な道路整備の財源は十分に確保できる。

わが党は、道路特定財源を一般財源化してあらたに環境税を導入するように提案していることを表明して、質問を終わる。

街は明るく若者応援 足立区主催でヤングミュージシャン・コンサートを

浅子けい子議員の質問時間は次のとおりです。

区民の安心・安全のための提案



質問する浅子けい子議員(7日)

○質問 犯罪の少ない安心して住めるまちづくりについて質問する。区長は足立の未来を拓く三つの鍵のひとつに「治安」をあげているが、「治安」は「国家からの統制」といった意味。区民の安心・安全を守るまちづくりが大切なことだと考える。区長は自転車からの道路が暗い、街灯の設置を」との要望がある。近頃は早くから家々の電気が消されたり、玄関の電灯はあっても点けていない家が多い。私道防犯灯設置助成制度があるが活用状況はどうか。

○答弁 18年度現在、区内に9476灯ある。年間100から150灯増えている。設置は町会からの申請による。

○質問 足立区の電気代維持管理費は現在、一灯につき年三〇〇〇円だが維持管理に不足すると聞く。わが党は予算修正案で助成制度を拡充し、年間四〇〇〇円にして町会の応援をすることを求めているがその考えはないか。

○答弁 電気代は一月約170円で年間2000円、この制度には2年に一回程度の電球の取替え代1000円も含まれており、あわせて三〇〇〇円ということでは十分と考えている。

○質問 町会からは足りないという声も聞いている。さらに、商店街は空き店舗が増え、商店街の装飾街路灯電気代の負担が困難になっているところが多くなっている。現在4分の3に助成が拡充しているが経過はどうか。

また、助成を一〇〇%にしてはどうか。

○答弁 商店街は5年間で960店減少している。電気代助成は商店街の活性化と防犯のためであるが、地元商店街の負担も求めているので、4分の3のままにしたい。

○質問 本場に冷たい答弁だ。商店に元気をだしてもらい、「暗くて怖い」「明るくして欲しい」との声にこたえることが、区民の願いにそった安心した街づくりではないか。

○質問 駅前にも集まる若者がワゴン車に乗せられて連れて行かれる光景があるが、どこにいくのか知っているか。

ワクワク元気がでる企画

○答弁 産業センターの前でもみられる光景で手配しがバスののせている派遣労働の人だと思ふ。

○質問 実態調査をすることを求める。

つきに楽しい提案をする。いま、北千住駅周辺をはじめとして路上ライブを楽しむ若者たちの姿が目につく。わが党が予算修正で提案した「ヤングミュージシャン・

コンサート」について若者の意見を聞くと「いいですね。発表の場が欲しかった」「演奏する人を集めれば、友人をはじめ聴いてもらえる人も多いよね」「聴いてくれた人の感想も聞きたいし、審査員をたててコンテストなんかだと張り合い出るな」などといった。

音楽を楽しむ若者たちに演奏の場を提供し、投票で優勝者を決めて、足立区をイメージした曲をつくってもらい、CDにして区でも活用するなど考えただけでも楽しくなる。

区の主催で、天空劇場を使えば会場費用はかからない。若者の夢と希望、そして文化の発信、さらに足立区のイメージアップにつながる「三鳥の提案」がどうか。

○答弁 足立区にも音楽室があり、青年たちの利用が高い。若い人たちの調査はしていないが声が高く寄せられ若者からそういう声があれば応えていくように検討していきたい。(この後、部長があわてて「考えていない」と答弁。)

○質問 江東区では昨年「江東バンドフェスティバル」を主催して若者にあたたかいメッセージを送ろうとしていた。足立区でも是非実施してほしい。

子どもたちの遊び場「100円貸付」を

○質問 つぎに、小中学生が地域体育館を個人で利用するとき、一〇〇円の利用料がかかる。土曜日は無料と聞くが、無料と有料の利用率に違いがあるか。子どもたちの遊び場確保としても無料にすべき。

○答弁 現在、第三土曜日のみ無料開放。

○質問 他の日と比べて無料の日の利用率はどうか。

○答弁 学校が休みとのことであって非常ににぎわっている。当面その他の日はこれまでどおりとしたい。

北千住駅東口まちなみづくりは住民合意を十分に得ることを

○質問 北千住駅東口まちなみづくりは、地元住民、地元商店の願いである一地元のにぎわい、「下町の良さ」を守る立場は変わらず、計画を実施するか確認する。

○答弁 地元の様々な意見を聞きながら進めていく。

○質問 いま東口から荒川までは風通しがいいが、一〇〇メートルの建物が建ってコンクリートの壁ができてしまうとまた来年度、土地開発公社は日本たばこ産業と都市再生機構の敷地の真ん中につくる道路用地の購入を予定しているが、いくらで購入するのか。

○答弁 価格については決定していない。わからない。

○質問 土地開発公社では44億円で購入が決まっているか。この道路は開発を進めるために必要なもので、開発業者に多くの利益をもたらすものである。これまでの西新井駅西口開発、新田周辺地区開発、千住大橋の開発では、開発地区内の道路は開発者の都市再生機構の負担で行ってきた。もっと区が積極的に日本たばこ産業や都市再生機構に働きかけて、区画街路くらい開発業者に負担させるべきである。本来、事業者が負担してもいい道路用地に44億円もかける支出を減らして、地元商店や地元住民の要望に応えることにその力を注ぐべきである。

